

長期休暇期間における情報セキュリティ対策

重要 休暇**前後**のセキュリティ対策について今一度確認しましょう！



休暇**前**の対策

◎ システム管理者・担当者

- ☐ 委託先企業を含めた緊急連絡体制の確認、インシデント発生時の対応手順の確認
- ☐ 組織内ネットワークへの機器接続ルールの確認
(メンテナンス等で社内ネットワークへ外部の機器接続予定がある場合等)
- ☐ 連休中に使用しないサーバ等の機器の電源OFF

◎ 社員、職員など（組織内ユーザ）

- ☐ PC等の機器やデータを社外に持ち出す場合のルールの確認と遵守
- ☐ 連休中に使用しないPC等の機器の電源OFF



休暇中

- ☐ 社外に持ち出した機器やデータの厳重な管理



休暇**後**の対策

◎ システム管理者・担当者

- ☐ OSや各種ソフトウェアの修正プログラムの公開有無の確認、適用
- ☐ ウイルス対策ソフトの定義ファイル（パターンファイル）の確認、更新
- ☐ サーバ等の機器への不審なアクセスがないか、各種ログの確認、調査

◎ 社員、職員など（組織内ユーザ）

- ☐ (システム管理者の指示に従い) OSや各種ソフトウェアの修正プログラムの適用
- ☐ ウイルス対策ソフトの定義ファイル（パターンファイル）の確認、更新
- ☐ 休暇中に持ち出したPC等のウイルススキャンの実施
- ☐ 不審な受信メールの確認（添付ファイルは開かない。本文中のURLに接続しない。）

出典：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）「2025年度 ゴールデンウィークにおける情報セキュリティに関する注意喚起」
<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/heads-up/alert20250421.html>

サイバー犯罪の被害に遭われた場合は、最寄りの警察署に通報・相談してください。

福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策などを、X（旧Twitter）やホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【X】
(旧 Twitter)



【HP】

